

令和7年度 第1回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和7年6月27日（金）13：30～14：10

○場所：下松市役所 1階 103会議室

○出席委員：20名（欠席2名）

中山委員、河合委員、西嶋委員（代理：米本氏）、河村英委員、河村憲委員、清水委員、田中委員、浅本委員、相本委員、逸見委員、古田委員、桑原委員、國宗委員、弘中委員、藤原委員、大木委員、河野委員、田村委員（代理：出田氏）、安野委員、金織委員

○事務局：企画政策課（高谷、田中、内富、品川）

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

（1）防長交通株式会社に係る幹線系統地域公共交通計画認定申請について

資料1を基に事務局から説明。

- ・防長交通の下松市にかかる5系統を対象とし、本協議会で協議を行い、申請を行うものである。
- ・対象路線の合計額は国と県が同額で2,593万3千5百円、市の負担額は1,535万1千円となる。
- ・車両にかかる補助額が4,902万3千円となる。

発言者	発言要旨
会 長	ご意見等はないか。 資料がたくさんあるが、毎年申請しているものであり、国と県が同額で約2,600万円、市が約1,500万という金額がかかっている。車両についても補助がある。 ご意見等はないか。
	(なし)
会 長	では意見がないようなので、計画案について審議をいただきたい。 併せて軽微な修正があれば事務局で修正の上対応することも含めて承認いただけるか。
各委員	(全員挙手)
会 長	全員挙手と見受けられる。議事1については承認とする。

（2）コミュニティバス（米泉号）に係る地域内フィーダー系統地域公共交通計画認定申請について

資料2を基に事務局から説明。

- ・事業の目標を令和6年度の実績値から新たに設定した部分と、協議会の開催状況を令

和 6 年度に更新した。それ以外に前回からの変更点はない。

発言者	発言要旨
会 長	米泉号についてであった。質問、意見はあるか。 初めての委員もいらっしゃるので補足する。下松市では路線バス以外に、米泉号があって、補助金の申請が必要というということである。運行している。実際の米泉号の運行経路等については、図面を見ていただきたい。
事務局	運行経路図をつけているが、サンリブから米川小学校前までは定時定路線、それ以外は予約による運行で、1 日 7 便を運行している。
	(なし)
会 長	では意見がないようなので、計画案について審議をいただきたい。 併せて軽微な修正があれば事務局で修正の上対応することも含めて承認いただけるか。
各委員	(全員挙手)
会 長	全員挙手と見受けられる。議事 2 については承認とする。

(3) 笠戸島地区コミュニティバスの概要について

資料 3 に基づき、事務局から説明。

- ・笠戸島地区での複数の実証実験や住民の皆様からのご意見を基に、深浦線に代わり市は令和 8 年 10 月のコミュニティバス運行開始を目指す。
- ・コミュニティバスの運行はタクシー事業者に運行を委託する予定で、既存の深浦線の路線を基本にバス停の新設・廃止を含め一部経路を変更し、フリー乗降区間も新たに設定する。
- ・運行便数は日曜・祝日を除く 5 往復の 10 便で現状の便数よりは減るが、周南記念病院への便は増える。
- ・下松駅前からサイコロトイレまでは一律 200 円、下松駅前から周南記念病院の間で乗降が関わる場合は 300 円とする。
- ・防長交通の既存路線と重複する区間は片側クローズドとする。

発言者	発言要旨
会 長	質問とご意見はないか。
國宗委員	フリー乗降区間を設けられるとのことだが、これは停留所だけでなく路上で手を挙げれば乗降できるしくみである。安全性を確認し、開始後の安全にも十分に配慮をお願いしたい。
事務局	安全性については警察とも協議をしており、運行開始後も引き続き気を付けて進めていきたい。
会長	笠戸のコミュニティバスは大きな目玉になると思う。 質問はないか。後ほど全体を通して質問をお受けしたい。 事務局提案の内容つい承認いただける方は挙手をお願いしたい。
各委員	(全員挙手)

3. その他

(1) 今年度の事業予定について

今年度の主要な事業予定2つについて事務局から説明。

①笠戸島地区コミュニティバス運行に向けた準備

②市街地路線の新規路線の運行に向けた防長交通様との協議

発言者	発言要旨
会 長	全体を通してでも質問等ないか。
浅本委員	資料3でR 8年10月から運行開始ということだが、地元のみなさんの協議はどの程度進んでいるか。
事務局	今年の2月に1回目の住民説明会を4か所で実施し、そこでの話を踏まえ案を変更している。7月終わりから8月頭にかけて2回目の住民説明会を予定しており、本日のこの内容を説明する予定。
浅本委員	大変喜ばれるのではないかと思います。そのほか、地元の人から特異な意見があったか。
事務局	洲鼻の方から運賃についてのご意見があった。当初は島外への運賃を300円としていたが、路線バスの運賃よりも高くなるということで、駅までの運賃を200円にした。落や尾郷は中まで入れないかという意見があったが、実際の車両で確認したところ、安全性や定時性の確保から現状路線を踏襲することになった。
浅本委員	車両の大きさや乗車定員はどれくらいか。
事務局	米泉号と同じ10人乗りを想定しており、その車両で走ってみたところ、尾郷や落の中に入るのは難しいということだった。
会長	他にはいかがか。
相本委員	「米川あったか便」は担い手となる運転手が確保できなかったことから3月末で終了した。現在、8人乗りのワンボックス車両が社協にあるので、活用してもらえればと思う。 またR 7年4月から久保地区交流支援事業として「久保あいあい号」が来巻で運行を開始した。特別養護老人ホームのご厚意で送迎車両の空き時間を利用して高齢者を商業施設への送迎するものである。以上取組として報告する。
会長	8人乗りの車両があるということだが、活用について事務局、どうか。
事務局	そういう車両があるという話は初めて聞いたが、使ってよいなら検討したい。 交通担当が活用するとなると有償運送になるので、地域で活用する「米川あったか便」のような地域での無償の活動に使った方が良いと思われる。地域でそういう動きがあれば一緒に検討したい。
会長	市では様々な方法で市内全域をカバーできるような方針を立てている。バス・タクシー・助成券などあらゆる取組も含め、有償サービス以外による網羅というのでも検討できるのではないか。そのときにはまだお声がけしたい。他にいかがか。

田中委員	笠戸のコミュニティバスについて、車両の大きさに決まりがあるのか。落は入れないということだが、数年先には住民が足も悪くなりごみ出しもできなくなることも予想され、抜本的に変えたほうがいいのではないかと。軽車両を使うなど考慮しないと対応できないところが出てくる。
事務局	今の深浦線を踏襲するとなると10人乗り程度でないと乗り切れない可能性が懸念されることから、10人乗りの車両で運行したい。落や尾郷の方々も今は納得していただいている。今後問題が発生したらその都度検討していきたい。
田中委員	若干期待してもいいということか。確定ではないが、話し合いで方針を変えることもあるということか。
事務局	10人乗りの車両を選ぶ理由に、乗りやすさの面がある。8人乗りの車両は座席を倒さないと後ろの席に乗れないが、10人乗りは通路があるので快適に乗れる。コミュニティバスで細い道まで行き届くようにするのは難しいが、需要が生じたり声が上がったりしたときにはデマンド交通も検討していく必要があるかと思う。ただ、笠戸島でデマンド型乗合タクシーの実験をしたが予約が面倒ということで利用がかなり低調だったので、希望の声があってもすぐできるものでないことはご理解いただきたい。
会長	貴重なご意見だと思う。非常に難しい問題。田中委員が言われるように近い将来に向けて状況も変わってくるので1回で正解を出すのは難しい。一定の方針は出すべきだが、見直しをする形で事務局にも考えていただけたらと思う。ご意見をいただきながら進めたい。 交通事業者の方はご意見などいかがか。金織委員はいかがか。
金織委員	笠戸のコミュニティバスが順調にいき、多くのお客様がタウンセンターにも来ていただけるよう、私たちも協力したい。
会長	心強い言葉、ありがたい。
清水委員	県内では美祢市など様々なところでデマンド運行の実証運行が行われている。山陰地域は乗合バス事業が少なく、今後バスをやめるとなると色々な問題があると考えている。代わりにタクシーで行おうにも4条乗合を持っているタクシー事業者はないので、自家用有償運送や普通のタクシー事業として実施するしかない。 笠戸のコミュニティバスは、國宗委員がフリー乗降を心配されていたが、実際に行ってみると一般車もそんなに多くないところで事故の心配は少ないように感じた。あとは、乗りたくても乗れないという課題が出てくると思うが、市も考えていると思うので安心していいと思う。山口県タクシー協会としては、県のリーディングシティとして下松市を重要視している。住みやすさ全国8位で注目もされていることにも理事としても鼻が高い。
会 長	ありがとうございます。議事、報告については以上で終了する。 事務局から連絡事項があればお願いする。
事務局	次回の協議会は現時点で下松市地域公共交通計画の改正の議案のみとなっているので書面を考えている。笠戸島地区コミュニティバスの運賃・ルー

	ト・事業者選定などの内容を決定した後、協議会に諮り運行内容を確定したいと考えており、本年１２月もしくは年明けの開催を予定している。
会 長	以上で第１回下松市地域公共交通活性化協議会を閉会する。

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	中山 昇
2	防長交通株式会社	営業部長	河合 貴志
3	西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部 広島支社 地域交通（山口）	課長	西嶋 俊輔
4	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
5	周南近鉄タクシー株式会社	総務部長	河村 憲朗
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	シニアクラブ下松	副会長	浅本 輝明
9	社会福祉法人下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
10	下松市小・中学校 PTA 連合会母親委員会	代表	逸見 勇介
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	下松市	健康福祉部長	桑原 健一
13	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	國宗 裕司
14	私鉄中国地方労働組合防長交通支部周南 分会	分会長	弘中 賢男
15	中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長	東 耕司
16	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	藤原 新
17	下松市	建設部長	大木 則英
18	下松警察署	交通課長	藤本 泰介
19	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科准教授	河野 拓也
20	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	田村 良雄
21	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
22	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩